

## 兵庫県における 歯科口腔保健の現状について

### 歯科口腔保健における動向

	国	兵庫県
H23.4		「健康づくり推進条例」施行
H23.8	「歯科口腔保健の推進に関する法律」施行	
H24.3		「健康づくり推進プラン」策定
H25.4	「健康日本21～第2次～」	「健康づくり推進実施計画」策定
H27.4	「歯科衛生士法」一部改正	
H27.6		「口腔保健支援センター」設置

**「健康づくり推進実施計画」  
に基づき、歯科保健活動を推進している**

# 「兵庫県健康づくり推進実施計画」

※「2 歯及び口腔の健康づくり」の項目抜粋

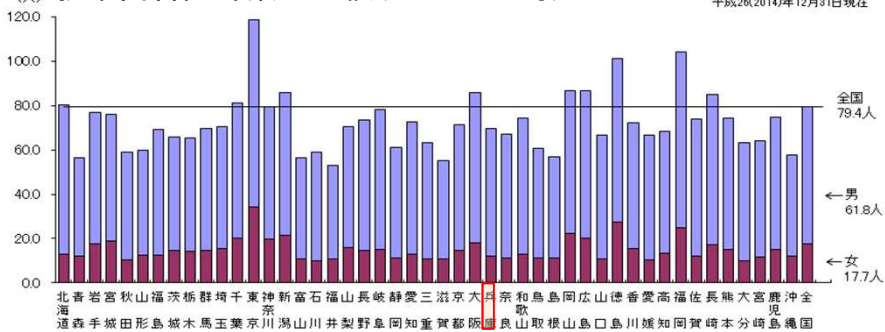
ライフステージ	目標項目	計画策定時	目標値(H29)
社会環境整備	①かかりつけ歯科医をもつ人の割合の増加	70.0%(H23)	84.0%
妊産婦	②妊婦歯科健診、または歯科専門職による相談に取り組む市町数の増加	25市町(H24)	41市町
乳幼児期	③3歳児のむし歯のない人の割合の増加	82.8%(H23)	87%以上
	④3歳児のむし歯のない人の割合が80%以上である市町数の増加	29市町(H23)	33市町以上
学齢期	⑤12歳児での一人平均むし歯数の減少	1.18(H23)	1歯未満
	⑥12歳児での一人平均むし歯数が1歯未満である市町数の増加	9市町(H23)	16市町以上
成人期	⑦過去1年間に歯科健康診査を受診した人の割合の増加(20歳以上)	46.9%(H23)	56%以上
	⑧8020運動目標達成者割合の増加 (40歳28歯以上)	64.1%(H23)	77%以上
	(50歳25歯以上)	76.9%(H23)	92%以上
	(60歳24歯以上)	61.1%(H23)	73%以上
高齢期	⑨歯間清掃用具を使用する人の割合の増加(20歳以上)	45.1%(H23)	54%以上
	⑩定期的な歯石除去や歯面清掃する人の割合の増加(20歳以上)	24.6%(H23)	30%以上
	⑪8020運動目標達成者割合の増加 (70歳22歯以上)	53.5%(H23)	64%以上
(80歳20歯以上)	35.2%(H23)	42%以上	
特に配慮を要する人 ・障害児(者) ・要介護高齢者 ・難病患者	⑫障害者(児)入所施設での定期的な歯科健診実施率の増加	65.8%(H24)	80%以上
	⑬介護老人福祉施設及び介護老人保健施設での定期的な歯科健診実施率の増加	28.9%(H24)	35%以上

## 歯科に関わる専門職の現状

就業歯科医師数の推移 (人)

	H22	H24	H26
実数	3,769	3,790	3,861
人口10万対	67.4	68.0	69.8

就業歯科医師数の比較(人口10万対)



出典: 医師・歯科医師・薬剤師 調査

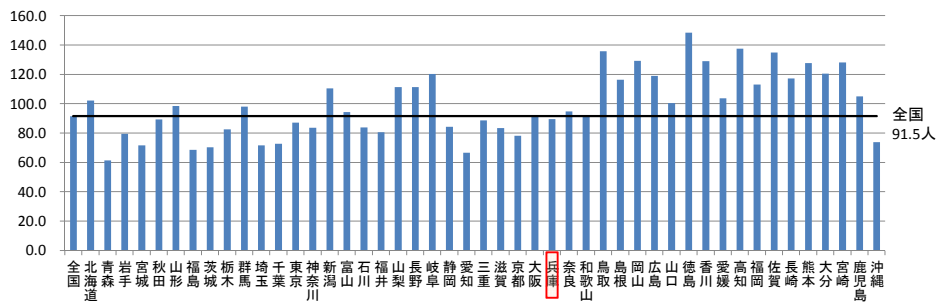
# 歯科に関わる専門職の現状

就業歯科衛生士数の推移 (人)

	H22	H24	H26
実数	4,255	4,568	4,970
人口10万対	76.1	82.0	89.5

全国の従事者は116,299人  
実際に免許登録があるのは  
全国で249,340人  
就業率は46.6%

(人) 就業歯科衛生士数の比較(人口10万対) H26(2014)年10月現在



出典:衛生行政報告例

# 歯科衛生士の人材確保対策

## 歯科衛生士復職支援事業

### ◆調査概要◆

#### ○対象

県立総合衛生学院、兵庫歯科学院専門学校の卒業生

#### ○時期

平成27年9月～10月

#### ○内容

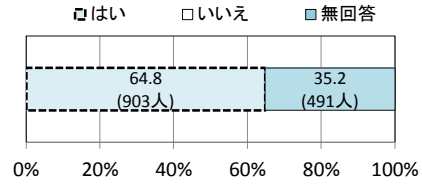
- ・就業状況、離職の原因、復職の障害、
- ・復職に必要な支援 など

#### ○回答状況

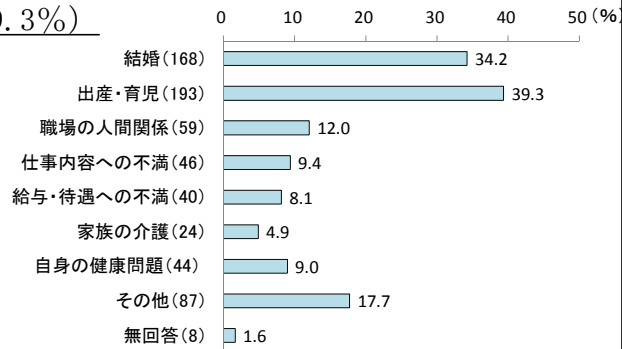
対象3,580人の内、1,394人が回答 (回答率38.9%)

## 調査結果の概要

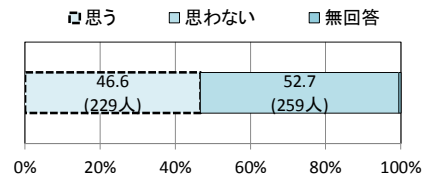
○就業状況 (n=1,394)  
903人 (64.8%) が歯科衛生士として働いていた



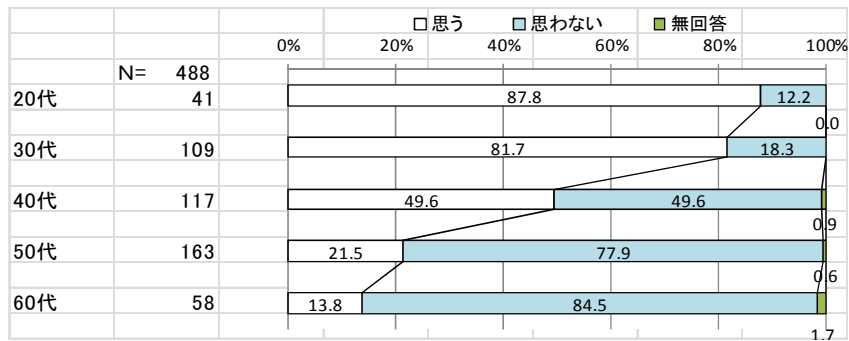
○離職の原因 (n=491) ※複数回答  
出産・育児193人 (39.3%) と最も多かった



○復職の希望 (n=491)  
229人 (46.6%) が歯科衛生士として働きたいと思っていた

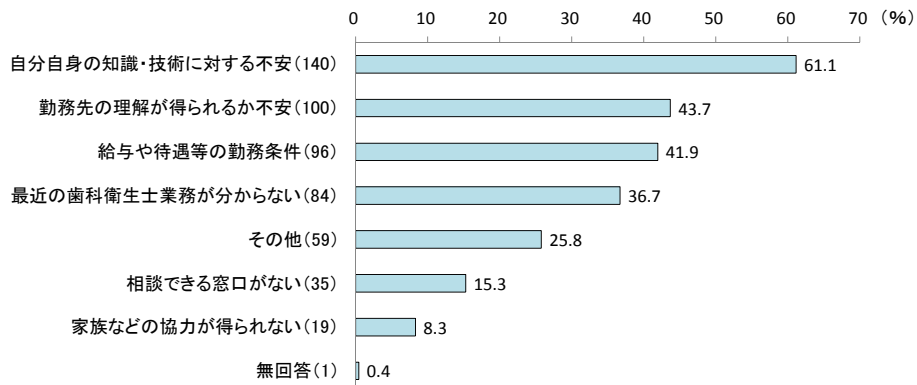


### ○年代別



○復職の障害（n=229）※複数回答

140人（61.1%）が自分自身の知識・技術に対する不安と回答した



## 歯科衛生士の人材確保対策

### ○復職支援検討会の開催（年2回）

参集者：県歯科医師会、県歯科衛生士会、歯科衛生士養成校関係者、健康福祉事務所担当者

内 容：復職支援研修会、講座について  
今後の復職支援対策について

### ○復職支援研修会の開催（神戸・姫路の2会場）

### ○復職支援講座の実施（6か月間2か所）

対象者：離職中の歯科衛生士

内 容：（研修）最新の歯科診療に関する情報、歯石除去や歯面清掃等の実習等

（講座）専門的な口腔ケアや介護保険施設での歯科保健活動

## 妊産婦期の目標値

目標項目	計画策定時	目標値(H29)
妊婦歯科健診、または歯科専門職による相談に取り組む市町数の増加	25市町(H24)	41市町

### 〈現状〉

H24年度25市町から、H27年度34市町と9市町増加しているが、目標の達成には至っていない。

		うち歯科健診			うち歯科相談・指導等
		個別	集団	計	
H24年度	25市町	9	9	18(17)	18
H25年度	27市町	12	9	21(19)	20
H26年度	29市町	16	8	24(22)	22
H27年度	34市町	25	6	31(29)	23

※ 個別と集団で重複している市町があるため () 内の数字は実数

## 妊産婦期への対策1

### ○妊産婦へのアンケート調査

#### ◆調査概要◆

#### ○対象

県内モデル6市実施の4か月健診又は7か月児の健康相談(10月・11月)の対象になる乳児の母親

#### ○時期

平成27年10月～平成28年2月

#### ○内容

・妊娠前後の口腔の変化、妊婦歯科健診の受診状況

#### ○回答状況

対象1,830人の内、1,554人が回答(回答率84.9%)

## 妊産婦期への対策2

○歯周病自己チェックシートの作成  
母子健康手帳交付時に口腔への意識を高めるための啓発用媒体を作成、配布



### ○妊産婦の歯科保健対策推進会議（年2回）

参集者：産科医、助産師、歯科医師、歯科衛生士、市町・健康福祉事務所の歯科保健担当者  
内 容：妊婦歯科健診マニュアルの内容  
関係機関が協同した普及啓発について

### ○妊婦歯科健診マニュアルの策定

各市町で実施している妊婦歯科健診が効果的に実施するため、県で統一したマニュアルを作成

## 乳幼児期・学齢期の目標値1

目標項目	計画策定時	目標値(H29)
3歳児のむし歯のない人の割合の増加	82.8%(H23)	87%以上

〈現状〉 (％)

	H23	H24	H25	H26	H27
兵庫県	82.8	84.0	85.1	84.5	85.0

H23年度82.8%に対し、H27年度85.0%で、2.2%増加しているが、目標には達していない。

目標項目	計画策定時	目標値(H29)
3歳児のむし歯のない人の割合が80%以上である市町数の増加	29市町(H23)	33市町以上

〈現状〉 (数)

	H23	H24	H25	H26	H27
兵庫県	29	27	32	29	32

H23年度29市町に対し、H27年度は32市町と増加しているが、目標には達していない。

## 乳幼児期・学齢期の目標値2

目標項目	計画策定時	目標値(H29)
12歳児での一人平均むし歯数の減少	1.18 (H23)	1歯未満

### 〈現状〉 (歯)

	H23	H24	H25	H26	H27
兵庫県	1.18	1.11	1.03	0.95	0.84

H23年度1.18歯に対し、H26年度に0.95歯となり、目標を達成した。

目標項目	計画策定時	目標値(H29)
12歳児での一人平均むし歯数が1歯未満である市町数の増加	9市町 (H23)	16市町以上

### 〈現状〉 (数)

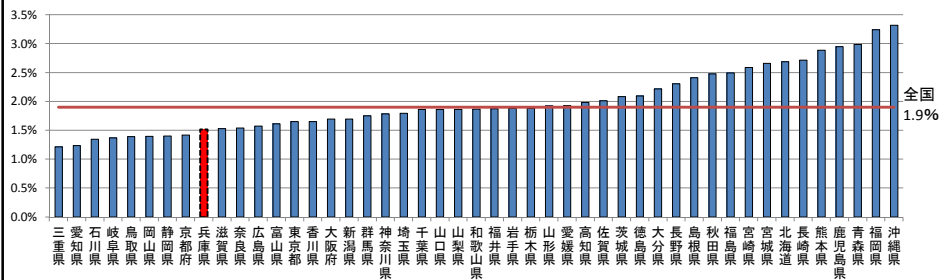
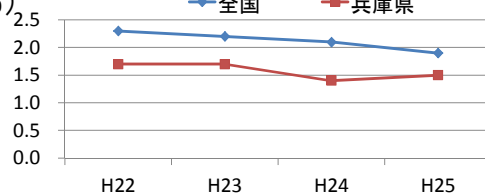
	H23	H24	H25	H26	H27
兵庫県	9	-	-	20	-

H23年度9市町に対し、H26年度に20市町となり、目標を達成した。

## 乳幼児期の現状1

1歳6か月児むし歯有病率(%)

	H22	H23	H24	H25
全国	2.3	2.2	2.1	1.9
兵庫県	1.6	1.7	1.7	1.5



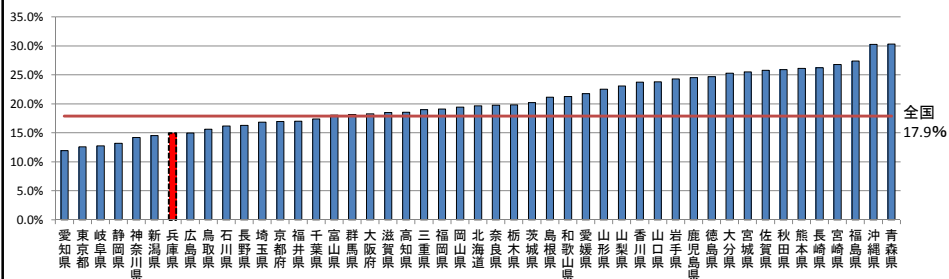
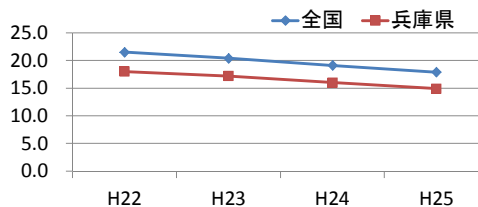
出典: 全国乳幼児歯科健診結果



## 乳幼児期の現状2

3歳児むし歯有病率(%)

	H22	H23	H24	H25
全国	21.5	20.4	19.1	17.9
兵庫県	18.0	17.2	16.0	14.9

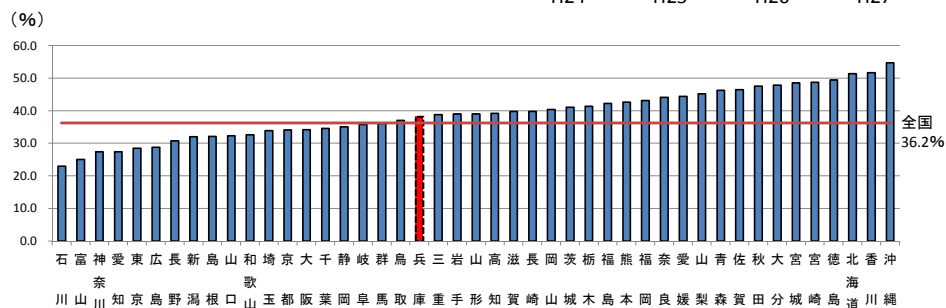
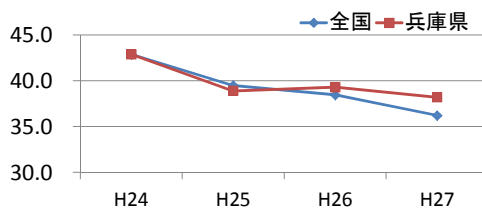


出典: 全国乳幼児歯科健診結果

## 乳幼児期の現状3

5歳児むし歯有病率(%)

	H24	H25	H26	H27
全国	42.9	39.5	38.5	36.2
兵庫県	42.9	38.9	39.3	38.2

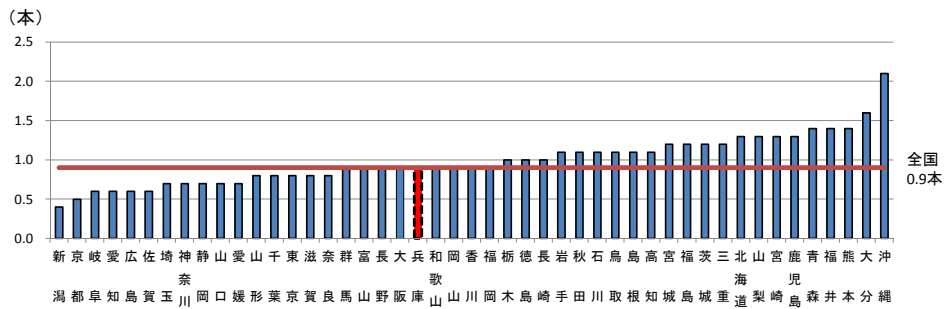
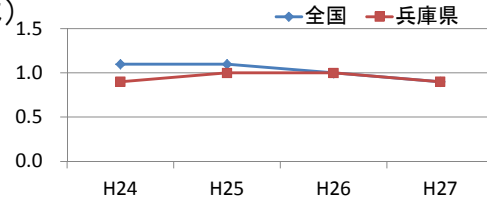


出典: 学校保健統計調査

# 学齡期の現状

12歳児一人平均むし歯数(本)

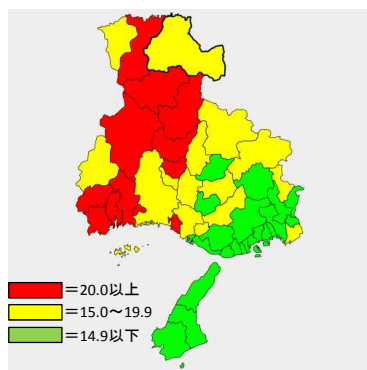
	H24	H25	H26	H27
全国	1.1	1.1	1.0	0.9
兵庫県	0.9	1.0	1.0	0.9



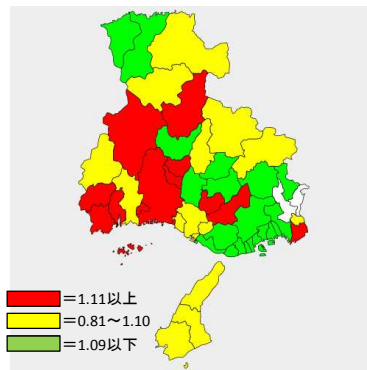
出典: 学校保健統計調査

# 地域格差について

3歳児むし歯有病状況(%)



12歳児一人平均むし歯数(歯)



※川西市、宝塚市については一人平均むし歯数のデータなし

出典: H26年度兵庫県乳幼児歯科健診結果

H26年度保育所、幼稚園、学校における歯科健診結果

## 乳幼児期への対策

### 〈兵庫県の取組〉

○保育所、認定子ども園、幼稚園、小中高  
における歯科健診結果のとりまとめ

### 〈その他〉

#### 【市町教育委員会】

歯科健診及び歯科保健指導（健康教育含む）の実施

## 成人期への取組

### ○健康づくりチャレンジ企業

〈登録数〉 715件（7月末現在）〔目標：H29年度末1,000件〕

- ・ 医師、**歯科医師**、栄養士、**歯科衛生士**など専門人材の派遣
- ・ 従業員・家族向け健康教室等への助成
- ・ 乳がん検診、子宮頸がん検診費への助成



### ○若者の食育力、健口力向上推進事業

進学等により、生活習慣が乱れがちな大学生が食生活や健口習慣を見直す機会とする

- ・ 歯科健診やPMTC体験
- ・ 栄養バランスチェック体験
- ・ 自身で健康を考えるワークショップ



### ○歯周病検診を実施する市町への支援

市町が実施する「歯周病検診」の検診結果集約や実施状況等のとりまとめによる支援を実施（H28年度より全市町で実施）

## 特に配慮を要する方の目標値

目標項目	計画策定時	目標値(H29)
障害者(児)入所施設での定期的な歯科健診実施率の増加	65.8%(H24)	80%以上
介護老人福祉施設及び介護老人保健施設での定期的な歯科健診実施率の増加	28.9%(H24)	35%以上

## 特に配慮を要する者への取組

### ○要介護者への口腔ケア等指導・研修事業

**目的:** 研修会を通して、施設職員や在宅医療・介護関係者が要介護者の口腔機能の特徴、口腔ケアの基本的な手技及びその重要性、摂食嚥下障害等について理解し、日常の業務において実践できる。

**対象者:** 要介護高齢者、障害者(児)等の利用する施設等の職員

**内容:** 要介護者の口腔機能の特徴、口腔のケアの基本的な手技及びその重要性、摂食嚥下障害等について指導を行う。

## 〈結果〉 研修開催実績

	回数	方法		被指導人数(人)			計
		施設研修型	集合研修型	障害者(児)施設職員	高齢者等施設職員	その他	
H25年度	13	3	10	102	107	109	318
H26年度	21	13	8	166	404	42	612
H27年度	26	20	6	75	490	139	704
計	60	37	23	343	1,001	290	1,634

H25年度から13健康福祉事務所にて「口腔ケア等指導・研修事業」を実施しており、H25年度からの3年間で60回延べ1,634人に対して研修を行っている。

### 〈アンケート結果より〉

研修前後の理解度の変化について要介護者の口腔機能が1.24ポイントと最も多く、ついで、口腔のケアの基本手技1.21ポイント、摂食嚥下障害1.10ポイントの順に多かった。

項目	研修前	研修後	差
要介護者の口腔機能 (n=484)	2.09	3.33	+1.24 ↑
口腔のケアの基本手技 (n=482)	2.12	3.33	+1.21 ↑
口腔のケアの重要性 (n=484)	2.66	3.64	+0.98 ↑
摂食嚥下障害 (n=438)	2.23	3.33	+1.10 ↑

